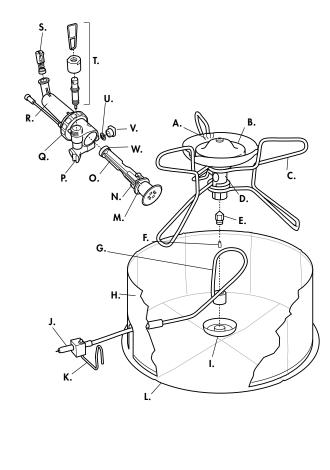
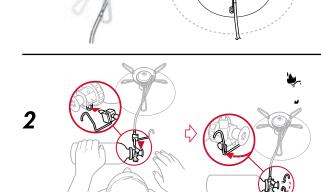
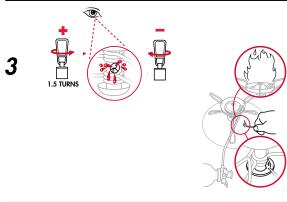


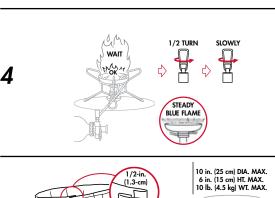


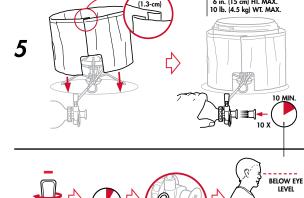
Retain these instructions for future reference.













www.msrgear.com | info@cascadedesigns.com



MOUNTAIN SAFETY RESEARCH® ©2018 Cascade Designs, Inc. 4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA Cascade Designs, Inc., USA - 1-800-531-9531 or 206-505-9500 Cascade Designs, Ltd., Ireland - (+353) 21-4621400

·酸化炭素の危険

本製品は、無臭の一 -酸化炭素 を発生する可能性があります。

⚠ 危険

密閉された場所で使用すると、死亡事故に至る 場合があります。

キャンピングカーやテント内、前室、車内、屋内 等、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使 用しないでください。

安全のための注意事項

本製品や他のストーブの近くで、ガソリンまたは 引火性のある液体あるいはガスを保管したり、 使用したりしないでください。



くご理解ください。本説明書は、後日参照できるよう大切に保管してください

本製品は、水を沸騰させたり、調理をするために設計された、**屋外調理専用**の軽量コンパクト なストーブです。その他の用途には絶対に使用しないでください。屋外での調理には、家庭で の通常の調理とは異なる危険が伴います。屋外での調理に関するお問い合わせ、ご不明な点 については、お近くのアウトドア店へお問い合わせください。 次の安全情報に従ってください。

- ます。

部品が欠けていたり破損している場合や、専用交換部品以外が使用されている場合は、スト

険な状況を引き起こす恐れがあります。 カスケードデザイン社の保証は、適切なサイズの MSR® ブランドの調理器具を使用した場合 にのみ適用されます。MSR® ブランド以外の調理器具の使用については、ユーザーご自身の責 任と判断にてご使用ください。

WHISPERLITE™ 取扱い方法

等が起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。 ストーブの構成部品 ードル

-E. ジェット F. シェイカーニ-G. ジェネレータ・ チューブ H. ウィンドスクリーン I. プライミングカップ J. フューエルライン ブラスエンド K. キャッチアーム L. ヒートリフレクター

M. プランジャーブッシング N. プランジャーブッシングタブ O. プランジャー

R. ボンプ本体 S. チェックバルブ T. コントロールバルブ Assy U. フューエルチューブ O リング P. フューエルポンプの溝 Q. ポンプシール

有鉛燃料は使用しないでください。MSR® SuperFuel® ホワイトガンリン (日本未発売) 以外の燃料を 使用すると、ストーブの目詰まりや、ジェットおよびフューエルラインのクリーニングの必要が生じる 可能性があります。また、目動車用無鉛がソンを使用すると、ストーブの寿命を縮める可能性があり ます。MSR 燃料以外の商品のご使用は、お勧めできません。

W. ポンプカップ

カップを 緩める ジェット を外す

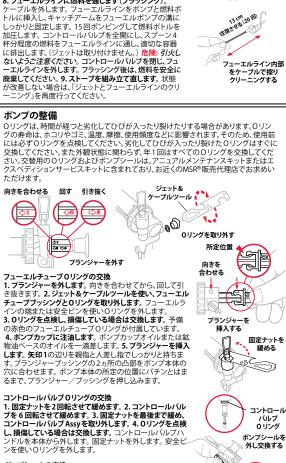
ヶ ーブルを 外す

ジェットの穴を クリ

海外で購入可能な燃料の名称や、安全なストーブの持ち運びについての情報は www.msrgear.com を

シェイカーニードルを使用したジェットのクリーニング
1.コントロールバレブを閉め、ストーブが冷めるまで最低
5分間待ちます。2.ストーブを上下に振ります。ジェット内
のシェイカーニードルがカタカタ鳴ることを確認します。
3.ストーブをブレヒートしてから作動させます。状態が改善
善しない場合、「ジェットとフューエルラインのクリーニング」を参照し、実施してください。

に排出します。ジェットは取り付けません。) 危険、 引火しないようご注意ください。 コントロールバルブを閉じ、フューエルラインを外します。 フラッシング後は、燃料を安全に廃棄してください。 9.ストープを組み立て直します。 状態が改善しない場合は、「ジェットとフューエルラインのクリーニング」を再度行ってください。



す恐れがあります。

ストーブの構成部品 A. リム戻り止め B. バーナーヘッ E. ジェット K. キャッチアーム L. ヒートリフレクター

燃料ボトルの準備 WhisperLite ストーブで使用できる燃料はホワイトガソリンのみです。 て」をご覧ください

proving Metric 20、CyaCugu (CCV)。
1. 燃料ボトルの満タンラインを超えないでください。燃料膨張のために、空気スペースを残しておきます。2. 燃料ボトルにボンブを挿入し、しっかりと締めます。3. コントロールバルブを閉じ、ブランジャー をボンビングします(20~30回)。燃料ボトルの中身が少ない場合、ボンビング回数をさらに多くして 加圧する必要があります。しっかりと抵抗が感じられるまでボンビングします。4.燃料ボトルの中身 が少ない場合、ボンビング回数をさらに多くして加圧する必要があります。

満タンの場合 20~30回

DOE

チェックバルブ Assy を外す



スペスト級・重要の生我、ルビ争いやき、17とはミッシャが出めっなす。
可燃物は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周囲から少なくとも
1.2 m 離してください。引火性のある液体やガスは、燃焼しているストープや点火しようとしている
ストープの上部および周囲から少なくとも 7.6 m 離してください。本製品は、可燃物、引火性のある
液体やガスを引火させることがあり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起
さす恐れがあります。本製品は野外(テントなどの密閉された空間では使用しないでください)で、水を沸騰させたり、調理をするために設計されています。それ以外の目的では絶対に使用しないでください。密閉された空間でストープを使用したり、水の沸騰や調理以外の目的でストープを使用
すると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等を引き起てす恐れがあります。

2. ストーブとボンプの接続 1. フューエルラインの先端全体に唾液またはオイルを塗ります。 2. ボンブにフューエルラインの先端を完全に差し込みます。 コントロールバルブが上向きになるよう燃料ボトルを横向きにします。 3. キャッチアームをフューエルボンブの溝にしっかりと固定します。 安全確保のため、フューエルラインをまっすぐに保ちます。燃料ボトルは、ストーブからできるだけ

▲ 危険 使用毎に、燃料ボトル、ボンブ、フューエルライン、バーナー、ストーブの下、ストーブの周囲に燃料が付着していないことを確認してください。燃料が付着していたり、燃料臭がある場合は、ストーブに点火しないでください。(ドトラブルシューディング)を参照してください。)燃料が漏れたことのある状態、あるいは燃料漏れが起きている状態でストーブを使用すると、燃料に引火し、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故が起きる恐があります。ストーブの使用時やストーブがまた熱い味、あるいは裸火の近くでは、フューエルライン、ボンブ、燃料ボトルを決して外さないでください。ストーブの使用時やストーブがまだ熱い味、あるいは裸火の近くでは、フューエルライン、ボンブ、燃料ボトルを決して外さないでください。ストーブの使用時やストーブがまだ熱い味、あるいは裸火の近く、コントロールバルブが開いている時(燃料が流れている時)に、フューエルライン、ボンブ、燃料ボトルを外さと、垂れた燃料に引火し、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故などを引き起く、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故などを引き起 裸火の近く、コントロールパルブが開いている時(燃料が流れている時)に、フューエルフイン、ホ ンブ、燃料ボトルを外すと、垂れた燃料に引火し、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故などを引き起 こす恐れがあります。 3.スト--ブのプレヒート 1.プライミングカップ1/2 杯分の燃料を出します。コントロールバル ブを開き(1.5 回転)、ジェット内に燃料が流れ込むようによす。ボンブコントロールバルブを開めます。ブライミングカップ内の燃料を確認します。2.プライミングカップの燃料に点火します。 通常、点火 当初の炎はサッカーボール程度の大きさになります。

してください。ストーブは巨小のため、頭や体がストーブの上にある状態は、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす可能性のある危険な行為です。プレヒートには、燃料を使用し過ぎないでください。プレヒートに燃料を使用し過ぎると、燃料漏れや燃料がこぼれる原因となり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故が起きる恐れがあります。 **−ブの点火 1.プレヒートの炎が小さくなるまで待ちます(約2分間**)。プレヒートが失敗 した場合は、ストーブが冷めるまで最低 5 分間待ってから再点火してください。 2 ・ボンブコントロールバルブを 1/2 回転回してバルブを開き、青く安定した炎になるまで待ちます。 3 . ゆっくりとポンプコン

⚠️ 危険 ストーブのプレヒート中、点火中、燃焼中は、頭や体がストーブの上部にこないように

プや燃焼中のストーブを移動しないでください。移動する場合は、ストーブの火を消してから必ず 最低5分間冷ましてください。熱いストーブや燃焼中のストーブを移動すると、火災、火傷、重度の 怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。 5. 調理目的でのストーブの使用 1. ウィンドスクリーンを設置します。ウィンドスクリー の端を合わせます。最適な性能を得るため、ウィンドスクリーンと調理器具の間に、2.5 cm の隙間を 残します。炎と空気を遮るものがないことを確認します。ウィンドスクリーンを使用することで、あらゆ る条件下での性能が向上します。2. 調理器具に食材や液体を入れます。3. 調理器具をストープの中

央に置きます。 4. 燃料ボトル内の圧力を維持します。圧力を維持するため、10 分毎に約 10 回ボンビングします。ポンピングする際は燃料ボトルをしっかり押さえます。

ルか海中、火災、火傷、里度の怪我、死亡事故に全る場合かあります。本ストース、五徳に適さないサイズの調理器具、および使用に適さない。調理器具は決して使用しないでください(例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホーロー調理器具など)。使用に適さない調理器具をストーブに使用すると調理器具やストーブが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がごぼれると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。カスケードデザイン社の保証は、適切なサイズのMSP®ブランドの調理器具を使用した場合にのみ適用されます。MSP®ブランド以外の調理器具の使用については、ユーザーご自身の責任と判断にてご使用ください。

6. ストーブの消火 1. ポンプコントロールバルブを閉めます。バーナーに残った燃料が小さな

▲ 危険 燃料ボトルは幼児の手の届かない場所で、必ずしっかりとキャップを締めた状態で保管してください。キャップが緩んだ状態や幼児の手の届、場所に燃料ボトルを保管すると、幼児が誤って燃料ボトルに触れ燃料をごぼしたり吸引してしまう等の事故を引き起こす恐れがあります。燃料ボトル内の燃料に曝されたり、燃料を吸引してしまうと、中毒、重度の障害、死亡事故などを引き起こす原因となる恐れがあります。燃料ボトルは、温水器、ストーブ、口火、暖房器具等の熱索り火源から離れた換気のよい場所に必ず保管してください。熱源や引火源の近くに燃料ボトルを保管すると、爆発する恐れがあり、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等の原因となる恐れがあります。

トラブルシューティング		
燃料漏れ	原因	処置
ポンプと燃料ボトルの 接続部	ポンプシールの損傷 または欠落	ポンプシールを交換する
ポンプとフューエルライン の接続部	フューエルチューブ O リングの 損傷または欠落	フューエルチューブ O リングを 交換する
コントロールバルブの 付け根部分	コントロールバルブ O リングの 損傷または欠落	コントロールバルブ O リング を交換する
ポンププランジャー チャンバー内	チェックバルブの詰まり	チェックバルブのくぼみを クリーニングする
性能問題	原因	処置
ポンピングしても 燃料ボトルを加圧できない	ポンプが緩んでいるか しっかりはまっていない ポンプカップの損傷	燃料ボトルのポンプを締め直す ポンプカップを交換する
プランジャーをポンピング しにくい	ポンプカップが乾いている	ポンプカップに注油する
異常な黄色い炎	プレヒートが適切でない	手順 3 を繰り返す
炎が弱い	燃料ボトルの圧力が低い	プランジャーをポンピングする
沸騰時間が遅い	ジェットあるいは フューエルラインの詰まり	ジェットおよびフューエルライン をクリーニングする
高地で炎が弱くなる	空気の流れが不充分	ウィンドスクリーンを少し開く







屋外使用専用

爆発の危険

·酸化炭素、火災、

本製品と燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死

燃料ボトルをストーブに取り付ける前に、フュー

·エルポンプの O リングが正しくセットされロコン・ とハー ノ ド・ルフロッ の別に、ノューエルホンノの U リンクが正しくセットされ 破損・磨耗等していないことを確認します。O リングに破損・磨耗がある場合は、ストーブを 使用しないでください。 ストープや燃料ボトルは、他の熱源の近くに保管しないでください。燃料ボトルが高温にさらされると、燃料漏れや爆発を引き起こし、死亡事故や重度の火傷を引き起こす恐れがあり

燃料ボトルに記載されている使用上・保管上のすべての警告に従ってください。

本説明書に記載されていないストープの分解を行わないでください。本製品を改造しないで <u>〈ださい</u>。本説明書の指示に一致しない方法でのストープの分解、または改造は、保証が無 効になります。また、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故が起きる危険な状況を引き起こす恐 れがあります。 即四川ペパ ていてが原因といる場合に、号州火探部四545 Kが定相されている場合は、人下プを使用しないでください、部品が欠けていたり被損している状態や、専用交換部品以外が使用されている状態でストーブを使用すると、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故等が起きる危

▲ 危険 以下にあてはまる場合は、ストーブを使用しないでください。(1) 本説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2) 熱いストーブや燃焼中のストーブの取り扱いに慣れておらず不安な場合、(3) 燃料漏れを発見した場合。(4) ストーブ自体に、あるいはその周囲に本製品の操作を危険にする要因を発見した場合。これらの指示に従わない場合、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故でなって、そのようによるという。

A. リム戻り止め B. バーナーヘッド C. 五徳 D. ミキサーチューブ フューエルポンプの構成部品 V. フューエルチューブ ブッシング

燃料について WhisperLite™ ストーブで使用できる燃料はホワイトガソリンのみです。

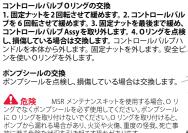
ストーブの整備 ジェットやフューエルライン内にゴミがあると、燃料の流量が減少し、ストーブの性能が低下します。ジェット内に微量のゴミがある場合、シェイカーニードルを使い詰まりを解消することができます。ゴミが多い場合、ジェットまたはフューエルラインの本格的なクリーニングが必要になる場合があります。「ストーブの整備」は、最低でも年1回、あるい

はポンプの整備を実施する度に行ってください。

引き抜く



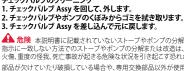
コントロールバルブ 0リングの交換

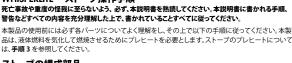


故に至る危険な状況を引き起こす恐れがあります。

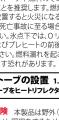
WHISPERLITE™ ストーブ操作手順

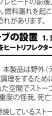
チェックバルブのクリーニ



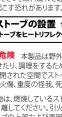


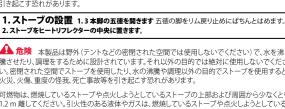
H. ウィンドスクリーン I. プライミングカップ J. フューエルライン ブラスエンド . バーナーヘッド . 五徳 F. シェイカーニードル G. ジェネレーター C. 五版 D. ミキサーチューブ チューブ -エルポンプの構成部品

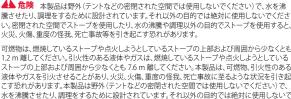


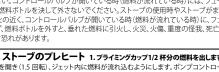












トロールバルブを開きます ⚠ 危険 ストーブが冷めきっていない状態では、決して再点火を行わないでください。再点火 する前には必ず、火が消えてから最低5分間冷まします。ストーブの温度が高い状態で再点火する と、大きな炎が発生し、火災、火傷、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。熱いストー

プを緩め、燃料ボトルを減圧します。注意:燃料ボトルを運搬する場合、ボンブは減圧された燃料ボ トル内に入れておくことができます。ボンブを取り外して、代わりに燃料ボトルキャップを取り付けて おくことも可能です。